

(様式 12)

氏名(本籍) 北 邦宏(東京都)  
学位の種類 博士(歯学)  
学位記番号 甲 第325号  
学位授与日 2016年3月14日  
学位授与の要件 博士の学位論文提出者(学位規程第11条第1項該当者)  
学位論文題目 マウスガードの形状に関する研究

—模型の基底面と前歯歯軸との角度の違いが

マウスガードの厚さに及ぼす影響について—

論文審査委員 (主査) 教授 安井 利一  
(副査) 教授 中畠 裕  
(副査) 教授 大川 周治  
(副査) 教授 藤澤 政紀

### 論文内容の要旨

近年、定期的にスポーツを行う人口は増加し、スポーツを行う選手の競技力もレベルアップしている。それに伴い、スポーツ時における顎口腔領域の外傷数とともに重症度も増加している。顎口腔領域の外傷予防には、カスタムメイドのマウスガード(以下、MG)の装着が有効である。カスタムメイドタイプのMGに関して、シングルタイプのMGが一般的に普及している。しかし、ラミネートタイプのMGよりも製作が比較的容易ではあるが、MGシート圧接時において厚さの調節が困難であり、特に前歯部の厚さが薄くなりやすい。シングルタイプのMGにおける前歯部の厚さを確保するためには、作業用模型のトリミングを行う際に、模型の高径を低くするとともに、模型の基底面と前歯歯軸とのなす角度(以下、前歯歯軸角)を直角あるいはそれ以下にすることが望ましいとされている。しかし、これらはMG製作の経験上において得られたものであり、明確な根拠を示している研究は少ない。そこで、本研究では、前歯歯軸角の違いが、MGの厚さに及ぼす影響について検討を行った。その結果、シングルタイプのMGの製作時に、作業用模型のトリミングを行う際には、模型基底面と前歯歯軸とのなす角度を $90^{\circ}$ にする必要性があることが示唆された。

### 論文審査および試験結果の要旨

本論文は、カスタムメイドMGのシングルタイプのMG製作時において、作業用模型の基底面と前歯歯軸とのなす角度の違いが、MGの厚さに及ぼす影響について検討を行った。研究の結果、シングルタイプのMGの製作時にMGの前歯部の厚さを確保するためには、作業用模型のトリミングを行う際には、模型基底面と前歯歯軸とのなす角度を $90^{\circ}$ にする必要性があるものと考えられた。

明海大学大学院歯学研究科環境生態免疫系歯科疫学群 北 邦宏に対する論文審査は、2016年2月1日、主査 安井 利一教授、副査 中畠 裕教授、副査 大川 周治教授、副査 藤澤 政紀教授の4名により実施した。論文審査は口頭試問により実施し、その結果、合格と判定した。

よって、申請者北 邦宏は、博士(歯学)の学位を授与されるに値するものと判断した。